■□■

矢臼別平和委員会事務局短信　2020・08.11　文責；中村忠士

□■

連続する大規模演習　第２回「実動対抗演習」8/15～9/21

このほど防衛省から「北海道訓練センター第２回運営の概要」が公表されました。

６月30日から７月８日に行われた「第１回運営」（陸自第７師団=千歳=と第９師団=青森=による実動対抗演習・２千人超の規模）から１か月ちょっとしかたっていないのに、２回目の「実動対抗演習」がまた矢臼別演習場で行われます。

第５旅団（帯広）と第10師団（名古屋）が激しくぶつかり合う実戦訓練
北東アジアの軍事的緊張を引き起こす大規模演習はしてはならない！

防衛省公表の「実施要領」によると、「防御する第５旅団（第６普通科連隊基幹）に対し、第10師団（第33普通科連隊基幹）が攻撃する実動対抗演習」となっています。

装備として、◆90式戦車◆74式戦車◆155ｍｍりゅう弾砲◆装輪装甲車などのほか、ＡＨ-1攻撃ヘリ、ＵＨ-1多目的ヘリが使われます。

また、演習の「特色」として、「実相に近い作戦環境下で実施する、諸職種協同の実動対抗演習」と明記されています。

本格的に戦争をやる…という構えで行われる演習だということがわかります。この状況を、アジアの諸国をはじめ、世界が見つめています。特に北東アジアでの軍事的緊張をもたらす大規模軍事演習となるでしょう。国際問題を平和的に解決するという平和憲法を持つ日本がやってはならないことです。

新型コロナの感染拡大を抑えるために財政を集中すべきとき
大規模軍事演習で巨額な血税を使うことは許されない！！

今回の演習の人員規模については公表されていませんが、おそらく千数百人の規模になるだろうと予想されています。兵員の移動、装備品の移送に巨額な血税が使われることは間違いありません。

新型コロナの新たな感染拡大が起こっている中、ＰＣＲ検査の抜本的拡充、医療体制の整備は待ったなしです。中小・個人の事業所・商店・観光業者などと、働く人たちに対する補償や雇用対策をどんどん打つべきです。消費税も引き下げるべきです。そのためにお金が必要なのです。北東アジアの軍事的緊張を作り出す大規模演習に使う予算はありません。「大規模演習をやめて、予算は新型コロナ対策に回せ！」の声を大きくしていきましょう。

矢臼別平和委員会として、演習中止を求める抗議要請書を防衛省に出します

皆さんも演習中止を求める抗議要請書を出しましょう。

■〒162-8801　東京都新宿区市谷本村町5-1　防衛省　防衛大臣　河野太郎

■〒162-8802　東京都新宿区市谷本村町5-1　陸上幕僚監部　陸上幕僚長　湯浅悟郎

９月の例会は通常の第１木曜日にやります。9/3 13：00～です